

令和7年2月4日

報道関係各位

新潟市歴史博物館

新潟市歴史博物館 開館20周年記念
いしかわかんさい
生誕260年の 石川侃齋展
～新潟町の人々に愛された南画家～
－2/8より開催－

日ごろより新潟市歴史博物館みなとぴあ企画事業の広報にご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、当館では2/8(土)から企画展示室にて「生誕260年の石川侃齋展」を開催します。石川侃齋は、江戸時代の後期に活躍した新潟町の絵師です。本展では新潟町の人々に愛され伝えられてきた作品から画業を探ります。

詳しくは別紙の通りですので、周知等についてご協力下さいますようお願いいたします。

〈問合せ先〉

新潟市歴史博物館 みなとぴあ

担当：学芸課 中村・星野

TEL 025-225-6111 FAX 025-225-6130



侃齋

新潟市歴史博物館 開館20周年記念
生誕260年の

石川侃齋展

いしかわかんさい

～新潟町の人々に愛された南画家～

2025. 2. 8 土 - 3. 30 日

※会期中展示替 前期: ~3/9(日) 後期: 3/11(火) ~

【休館日】月曜日(2/24は開館)、2/12(水)、2/25(火)、3/21(金)

【開館時間】9:30~17:00(観覧券の販売は閉館30分前まで)

【観覧料】一般/500円 大学生・高校生/300円 中・小学生/100円

※リピーター割引(本展の半券提示で本展2度目の観覧が2割引)

※団体(20名以上)は2割引

※小・中学生は土・日・祝日無料

※本観覧券で常設展示もご覧いただけます

【共催】新潟日報社

【後援】朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、
産経新聞新潟支局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、
NCV(株)ニューメディア、FM新潟77.5、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、
エフエム角田山ぽかぽかラジオ

新潟市歴史博物館 本館1階 企画展示室
〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
TEL 025-225-6111
E-mail museum@nchm.jp URL <https://www.nchm.jp>
X:@minatopia Instagram:@nchm_minatopia



1 青嶽山水図 自画像(部分) 天保8(1837) 蓮原浄光寺蔵
2・7 天徳図(部分) 当館蔵
3 点景人物図巻(部分) 天保11(1840) 個人蔵
4 菊田 柳村両賢(部分) 当館蔵
5 詩画賛小品山水図(部分) 個人蔵
6 独居読書室(部分) 当館蔵
すべて、石川侃齋による



生誕260年の
石川侃齋展
いしかわかんさい
～新潟町の人々に愛された南画家～



- 1・5 石川侃齋 点景人物図巻(部分) 天保11(1840) 個人蔵
- 2 石川侃齋 秋景山水図(部分) 天保7(1836) 当館蔵
- 3 劉雲泉 春江独釣圖 文化5(1808) 個人蔵
- 4 石川侃齋 山水図屏風 当館蔵
- 6 石川侃齋 舟來人物図(部分) 天保7(1836) 当館蔵



「いしかわかんさい」という絵師をご存じですか？

石川侃齋(1764-1840)は、江戸時代後期に新潟町で活躍しました。

この時代は、絵師や学者、詩人などの文人の多くが旅をしました。各地で歓待を受けて絵や詩をかき、文人同士も交流し技量や知識を高めあいました。侃齋も大坂や長崎などを訪ね、越後を訪れた文人と交流を深めました。特に侃齋の作風に大きな影響を与えたのは、文化年間に来越した肥前島原(長崎県)出身の南画家 劉雲泉と、江戸の儒学者 亀田鵬齋でした。侃齋の絵は文人には評価されましたが、求める人は少なく貧しい生活だったといえます。しかし、没後は顕彰碑の建立や展覧会の開催などによりその画風や生涯が見直され、侃齋は新潟の人々にも郷土の大切な絵師の一人として知られるようになりました。

侃齋生誕260年を迎え、新たな視点でその画業をふりかえる展覧会を開催します。現代を生きるみなさんの目で、多様な山水の表現や、画中の人物たちのユニークな表情、詩・書・画のコラボレーションなどの魅力を発見しながら、侃齋の絵の世界をお楽しみください。



関連イベント

【講演会】

◆石川侃齋の作風と顕彰史

講師：岡村 鉄琴 氏(新潟大学教授)
日時：3月1日(土)13:30～15:00
会場：本館2階 セミナー室
参加費：100円 定員：80名

要事前申込
2月20日(木)締切

【ワークショップ】

◆水墨画体験 ～侃齋さんの絵に挑戦～

講師：永吉 秀司 氏(新潟大学准教授)
日時：2月22日(土)14:00～16:00
会場：本館1階 たいげんのひろば
参加費：本展の当日観覧券が必要です 定員：14名

要事前申込
2月13日(木)締切

◆不思議なからくりミニ屏風づくり

日時：3月22日(土)14:00～15:30
会場：本館1階 たいげんのひろば
参加費：300円 定員：25名

要事前申込
3月13日(木)締切

学芸員によるギャラリートーク(本展の当日観覧券が必要です)

日時：2月8日、3月8日・15日・29日 いずれも土曜日
11:00～(30分程度)
会場：本館1階 企画展示室

申込不要

会場では、鑑賞のびきを配布します(会期中いつでも)

申込方法(◆マークのイベント)

応募多数の場合抽選(申込後2週間以内に通知)
当館ウェブサイトの申込フォーム(右の二次元コード)
もしくは往復はがきに、①～④を明記して博物館まで。
①参加希望のイベント名(「3/1企画展講演会」または「*/ワークショップ」)
②氏名 ③住所 ④連絡先電話番号



交通案内

- バスで…新潟駅バスターミナルより
 - 観光循環バス 乗車40分「歴史博物館前」下車
 - 路線バス
 - ① <高代橋ライン-青山方面行>乗車6分、
「本町」下車、乗り換え徒歩5分、
「東福通七番町」から<東福通線-入船営業所行>
乗車8分、「歴史博物館前」下車
 - ② <柳都大橋線-入船営業所行>乗車12分、
「湊町通二丁目」下車、徒歩8分
- タクシーで…新潟駅より約10分
- お車で…新潟バイパス紫竹山ICより約15分(駐車場73台)



新潟市歴史博物館
〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
TEL 025-225-6111
E-mail museum@nchm.jp
URL https://www.nchm.jp